

# 第6分科会

## 「ケア」に直面する学生を支えるために

### 分科会概要：

コロナ禍でエッセンシャルワーカーへ着目が集まったが、私たちの暮らしには「ケア」は不可欠なものである。学生本人の学びの場では、障がいのある学生や学生生活に悩みを抱える学生へのケアが求められる。また、学生の中には家族や他者のケアを担う役割として生活し、大學生活上の困難に直面する者もいる。

大学は教育機関として学生の学習を指導する役割を担うが、今日では、本来的な役割である教育指導を進めるためにも、学内の教職員との連携の中で「ケア」を必要としていたり、「ケア」の担い手として奮闘する学生を指導していくと同時に、学外の関係機関と協力をしながら学生のサポートを展開する必要がある。

本分科会では「大学生とケア」に焦点を当て、学生が「ケア」についてどのような問題に直面しているのか、また、大学は学生と「ケア」について、どのように取り組む必要があるのか、考えていきたい。

### <プログラム>

- 10:00 趣旨説明 中野 加奈子 氏 (大谷大学社会学部 准教授)
- 10:05 講演1「当事者の視点からみえる大学生ケアラーの実態」  
河西 優氏 (立命館大学衣笠総合研究機構人間科学研究所 補助研究員 / Young Carers Action Research Project 発起人)
- 10:30 講演2「ヤングケアラーと社会福祉職の専門職養成 (大学教員の立場から)」  
田中 智子氏 (佛教大学社会福祉学部 教授)
- 10:55 講演3「小規模私立大学の障がい学生支援体制—大谷大学における横断型チームの実践—」  
鈴木 美佳子 氏 (大谷大学 学生支援部 (保健室) 障がい学生支援チーム (横断型) チームリーダー)
- 11:30 休憩 (質問、コメントの受け入れ)
- 11:40 ディスカッション・質疑応答  
司会 中野 加奈子 (大谷大学社会学部 准教授)